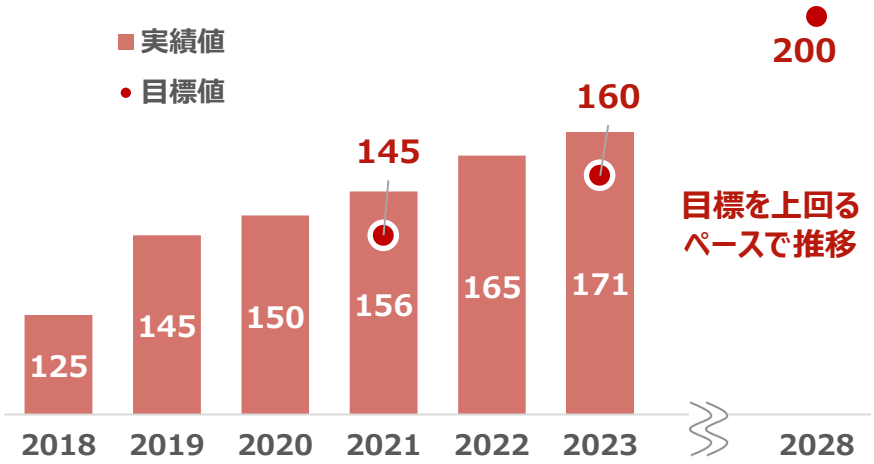
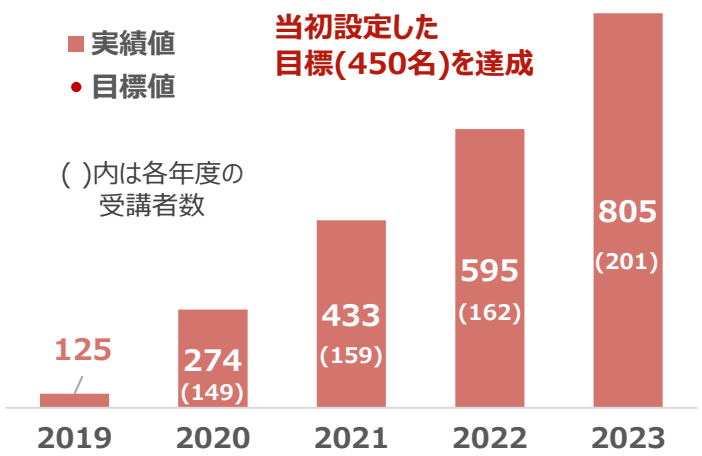
研究成果の教育と社会への還元①：グローバル教育の展開(KPI)

- 学士課程の英語専門科目数は**2018年から約４割増加し171科目**に2028年までに200科目の目標に向け、想定を上回る水準で推移
- **グローバル・アクティブ・ラーニング* の受講者数**は当初の**目標を達成**
  海外の大学とオンラインで交流・協働を行う授業を積極的に展開

学士課程英語専門科目数



グローバル・アクティブ・ラーニング受講者数(累計)



＊グローバル・アクティブ・ラーニングとは

- ✓ 外国語で行うディベートやグループワークが中心に据えられ、学生が能動的に学びに向かうよう設計された授業
- ✓ シラバスや教材の共同開発など海外の大学と授業内外での交流・協働を行うCOIL(Collaborative Online International Learning)を取り入れたプログラムや、世界の社会科学系９大学よる連合”SIGMA”のオンライン・アクティブ・ラーニングコースの受講者などが含まれます